



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場会社名 クボテック株式会社 上場取引所 東
コード番号 7709 URL <https://www.kubotek.com/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫
問合せ先責任者 (役職名) 管理Dept. マネージャー (氏名) 記虎政史 (TEL) 06-6443-1815
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	624	16.5	50	34.6	50	41.2	49	43.7
2025年3月期第1四半期	535	165.0	37	—	35	—	34	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 65百万円(244.9%) 2025年3月期第1四半期 19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	3	57	—	—
2025年3月期第1四半期	2	48	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2026年3月期第1四半期	1,595		267		16.8	19.46
2025年3月期	1,735		202		11.7	14.69

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 267百万円 2025年3月期 202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	△1.1	75	△52.8	70	△56.0	65	△58.3	4.72
通期	1,750	5.3	△190	—	△200	—	△230	—	△16.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類 8 ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	13,830,000株	2025年3月期	13,830,000株
2026年3月期1Q	62,211株	2025年3月期	62,211株
2026年3月期1Q	13,767,789株	2025年3月期1Q	13,767,839株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、堅調な企業業績などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で原材料等の物価上昇や、不安定な国際情勢の影響が景気を下押しするリスクとなっており、先行きが見通せない状況が続いております。フラットパネルディスプレイ（FPD）の分野におきましては、大幅な需要回復は見られず顧客の設備投資は不透明で、依然厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは業績回復を目指して開発及び営業活動に注力してまいりました。画像処理外観検査装置は、不安定な受注動向など課題があるものの、これまでの受注実績を着実に売上に繋げ堅調に推移しました。一方で3Dソリューションシステム製品は、新規顧客の開拓に努めましたが、売上は伸び悩み横這いの状況が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高624百万円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益50百万円（前年同四半期比34.6%増）、経常利益50百万円（前年同四半期比41.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円（前年同四半期比43.7%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上は主に中国向けで増加しました。この結果、売上高は492百万円（前年同四半期比21.5%増）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上は微増にとどまりました。この結果、売上高は131百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント損失は17百万円（前年同四半期はセグメント損失27百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ139百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の減少55百万円、売上債権の増加25百万円、棚卸資産の減少163百万円などにより、174百万円減少しました。固定資産は、有形固定資産のその他（純額）に含まれる工具、器具及び備品の増加39百万円などにより、34百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ205百万円減少しました。流動負債は仕入債務の増加69百万円、契約負債の減少259百万円などにより、192百万円減少しました。固定負債は長期借入金の減少6百万円などにより、13百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円の計上、為替換算調整勘定の増加16百万円により、純資産合計が65百万円増加しました。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで7期連続して営業損失を計上し、また前連結会計年度において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が前連結会計年度末に存在しておりました。当第1四半期連結累計期間においては営業利益50百万円を計上することができましたが、業績回復の状況を慎重に見極める必要があり、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また組織の改革によって、既存事業の競争力を維持しつつ、新しい事業を展開してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の動向を踏まえ、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	438,697	383,184
受取手形、売掛金及び契約資産	275,293	301,326
電子記録債権	2,764	2,445
商品及び製品	14,617	13,840
仕掛品	653,909	494,814
原材料及び貯蔵品	44,853	40,779
その他	67,573	86,449
貸倒引当金	△11,908	△11,773
流動資産合計	1,485,801	1,311,066
固定資産		
有形固定資産		
その他（純額）	6	41,696
有形固定資産合計	6	41,696
無形固定資産		
ソフトウェア	226,075	222,241
その他	0	0
無形固定資産合計	226,075	222,241
投資その他の資産		
その他	23,929	20,901
貸倒引当金	△154	△154
投資その他の資産合計	23,774	20,746
固定資産合計	249,856	284,684
資産合計	1,735,658	1,595,750
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,178	94,463
短期借入金	144,380	146,378
未払法人税等	12,833	6,305
契約負債	1,087,519	828,409
賞与引当金	5,660	3,230
その他	118,418	122,760
流動負債合計	1,393,990	1,201,546
固定負債		
長期借入金	91,048	84,886
契約負債	10,173	7,644
退職給付に係る負債	19,306	18,278
その他	18,932	15,497
固定負債合計	139,460	126,305
負債合計	1,533,451	1,327,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△1,594,747	△1,545,581
自己株式	△81,727	△81,727
株主資本合計	275,275	324,441
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△73,068	△56,543
その他の包括利益累計額合計	△73,068	△56,543
純資産合計	202,207	267,898
負債純資産合計	1,735,658	1,595,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	535,623	624,133
売上原価	298,165	359,701
売上総利益	237,457	264,431
販売費及び一般管理費	199,958	213,944
営業利益	37,499	50,487
営業外収益		
受取利息	7	6
為替差益	-	705
還付消費税等	40	-
その他	0	0
営業外収益合計	48	713
営業外費用		
支払利息	1,129	453
為替差損	444	-
その他	157	159
営業外費用合計	1,732	612
経常利益	35,815	50,588
税金等調整前四半期純利益	35,815	50,588
法人税等	1,604	1,422
四半期純利益	34,210	49,166
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,210	49,166

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	34,210	49,166
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△15,162	16,524
その他の包括利益合計	△15,162	16,524
四半期包括利益	19,048	65,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,048	65,690
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度まで7期連続して営業損失を計上し、また前連結会計年度において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が前連結会計年度末に存在しておりました。当第1四半期連結累計期間においては営業利益50百万円を計上することができましたが、業績回復の状況を慎重に見極める必要があり、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また組織の改革によって、既存事業の競争力を維持しつつ、新しい事業を展開してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

業績悪化の中でも製品開発は続けておりますが、早急な収益力の向上には困難が伴い、また資金調達の状況等によっては今後の当社の資金繰りに重要な影響を及ぼす可能性があることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	405,379	130,244	535,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,737	—	66,737
計	472,116	130,244	602,360
セグメント利益又は損失(△)	37,274	△27,722	9,551

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	9,551
セグメント間取引消去	1,933
内部利益の調整額	5,029
貸倒引当金の調整額	20,984
四半期連結損益計算書の営業利益	37,499

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	492,536	131,597	624,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63,862	—	63,862
計	556,398	131,597	687,995
セグメント利益又は損失(△)	42,657	△17,564	25,093

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	25,093
セグメント間取引消去	1,737
内部利益の調整額	1,930
貸倒引当金の調整額	21,726
四半期連結損益計算書の営業利益	50,487

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	53,110	55,259